

制定日 2016年4月1日


Safety Data Sheet
安全性データシート

株式会社コベルコ科研
兵庫県高砂市荒井町新浜 2 丁目 3-1
担当部門 ターゲット事業本部技術部
電話番号 079-445-9024
FAX 番号 079-445-9025
緊急連絡先 同上

1. 品名

酸化インジウム(In2O3)

2. 危険有害性の要約

GHS分類	項目	In2O3
物理化学的 危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する 有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入・ガス)	分類対象外
	急性毒性(吸入・蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入・粉塵)	分類できない
	急性毒性(吸入・ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(肺、骨格、消化管)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する 有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない
ラベル要素	絵表示又はシンボル	
	注意喚起語	危険
	危険有害性情報	長期又は反復ばく露による肺、骨格、消化管の障害
	注意書き	【安全対策】 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。粉じん、ヒュームを吸入しないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。 【応急措置】 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 【保管】 直射日光を避け、容器を密閉して換気の良い場所で施錠して保管すること。 【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
	国・地域情報:	-----

3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区別	単一物質
化学名	酸化インジウム
化学式または構造式	In ₂ O ₃
官報公示整理番号(安衛法、化審法)	・酸化インジウム:(1)-750 化審法
CAS番号	・酸化インジウム 1312-43-2
国連分類および国連番号	-----

4. 応急措置

目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	付着または接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流し、速やかに医師の診察を受ける。
吸入した場合	直ちに被災者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の診察を受ける。呼吸困難または呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。
飲み込んだ場合	意識があるときは吐かせて口の中を水でよく洗浄する。直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の配置消火剤

消火剤	この製品自体は、燃焼しない。 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。 小火災:粉末消火剤、二酸化炭素、散水 大火災:粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、散水
火災時の特定危険有害性	火災によって刺激性、又は毒性のヒュームを発生するおそれがある。 消火活動中に煙を吸引しないようにする。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸装置、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(8. ばく露防止措置及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
環境に対する注意事項:	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和:	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の方法・機材:	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策:	床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	<p>技術的対策:「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 局所排気装置・全体換気:「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気装置、全体換気を行なう。 安全取扱い注意事項:火気注意 接触、吸入又は飲み込まないこと。 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 接触回避:「10. 安定性及び反応性」を参照。</p>
貯蔵	<p>技術的対策:特別に技術的対策は必要としない。 混触危険物質:「10. 安定性及び反応性」を参照。 保管条件:容器を密閉して換気の良い涼しい所で保管すること。 容器包装材料:包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。</p>

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	-----
許容濃度	<p>日本産業衛生学会(2005年版) 設定されていない。 ACGIH (2005年版) TLV-TWA 0.1mg/m3 (Inとして)</p>
設備対策	<p>この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。</p>
保護具	<p>呼吸用保護具: 呼吸保護具の使用の要求される環境下では、呼吸保護具を着用する。</p>
	<p>保護眼鏡: 適当な保護眼鏡もしくは安全眼鏡を着用する。</p>
	<p>保護手袋: 皮膚の露出を防ぐために適当な手袋を着用する。</p>
	<p>保護衣: 皮膚の露出を防ぐために適当な保護衣を着用する。</p>

9. 物理的及び化学的性質

外観等	黄色粉末
沸点:℃	850℃で分解し、蒸発
蒸気圧:Pa(20℃)	情報が入手できません。
揮発性	情報が入手できません。
融点:℃	情報が入手できません。
比重または嵩比重	7.18
溶解度	水% (℃) : 不溶、その他の溶媒% (℃) : 不溶
その他	-----

10. 安定性及び反応性

引火点:℃	該当しない。
発火点:℃	該当しない。
爆発限界:上眼% 下眼%	該当しない。
可燃性	情報が入手できません。
発火性(自然発火性・ 水との反応性)	該当しない。
酸化性	情報が入手できません。
自己反応性・爆発性	情報が入手できません。
粉じん爆発性	情報が入手できません。
安定性・反応性	通常取り扱いにおいては安定である。 危険有害反応性可能性: 酸にはわずかに溶けるが、アルカリには溶けず安定である。 避けるべき条件:粉塵の堆積、拡散。 混触危険物質:なし 危険有害な分解性生成物:なし
その他	-----

11. 有害性情報

腐食性	情報が入手できません。
刺激性(皮膚、眼)	情報が入手できません。
感作性	情報が入手できません。
急性毒性 (50%致死量を含む)	経口:ラット LD50 >10g/kg より区分外 吸入: 情報不足。 経皮:情報が入手できません。
亜急性毒性	情報が入手できません。
慢性毒性	情報が入手できません。
がん原性	情報が入手できません。
変異原性 (微生物、染色体異)	情報が入手できません。
生殖毒性	情報が入手できません。
催奇毒性	情報が入手できません。
その他(水と反応して有害 なガスを発生する等を含 む)	情報が入手できません。
特定標的臓器・全身毒 性(単回暴露)	情報が入手できません。
特定標的臓器・全身毒 性 (反復暴露)	「インジューム及びその化合物は骨格、消化管系への影響及び特に肺への吸入による有害性によりTLV-TWAが設定されていること」、「ヒトで2例のインジューム・スズ酸化物による肺線維症の症例報告があること」及び「インジューム・スズ酸化物は高いインジューム含量を有するのでその観察された肺毒性の主な原因はおそらくインジュームによる」の記載がある。 区分1(肺、骨格、消化管)とした。 長期又は反復ばく露による器官の損傷(区分1) 【特記】 インジュームは、ACGIH及び安衛法でもインジューム及びその化合物として採録されているので、酸化インジュームをインジューム類縁体として評価・分類した。
吸引性呼吸器有害性	情報が入手できません。

12. 環境影響情報

情報が入手できません。

13. 廃棄上の注意

再利用のため回収します。

14. 輸送上の注意

割れやすいので落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。

15. 適用法令

労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定化学物質第2類物質、管理第2類物質(特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2, 5号)【3の2インジウム化合物】 ・特定化学物質特別管理物質(特定化学物質障害予防規則第38条3))【3の2インジウム化合物】 ・名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条)(政令番号 第7号)【3の2インジウム化合物】 ・名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号 第58号インジウム及びその化合物)
労働基準法	特定できず
毒物及び劇物取締法	特定できず
消防法	特定できず
危険物船舶運送及び貯蔵規則	特定できず
PRTR法	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)(政令番号 第44号)

16. その他

その他 (記載内容の 問い合わせ先、 引用文献等)	記載内容の問い合わせ先	株式会社コバルコ科研
	引用文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ACGIH発行TLV_s® and BEI_s®2009 ・厚生労働省:職場の安全サイト http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx ・安全衛生情報センター http://www.jaish.gr.jp/ http://www.nihs.go.jp/ICSC/ 他
	改訂履歴	Rev.0:新規制定

*危険・有害性の情報は十分ではありません。また、本文書は安全の保証書ではありません